専門・認定看護師　ニュースレター

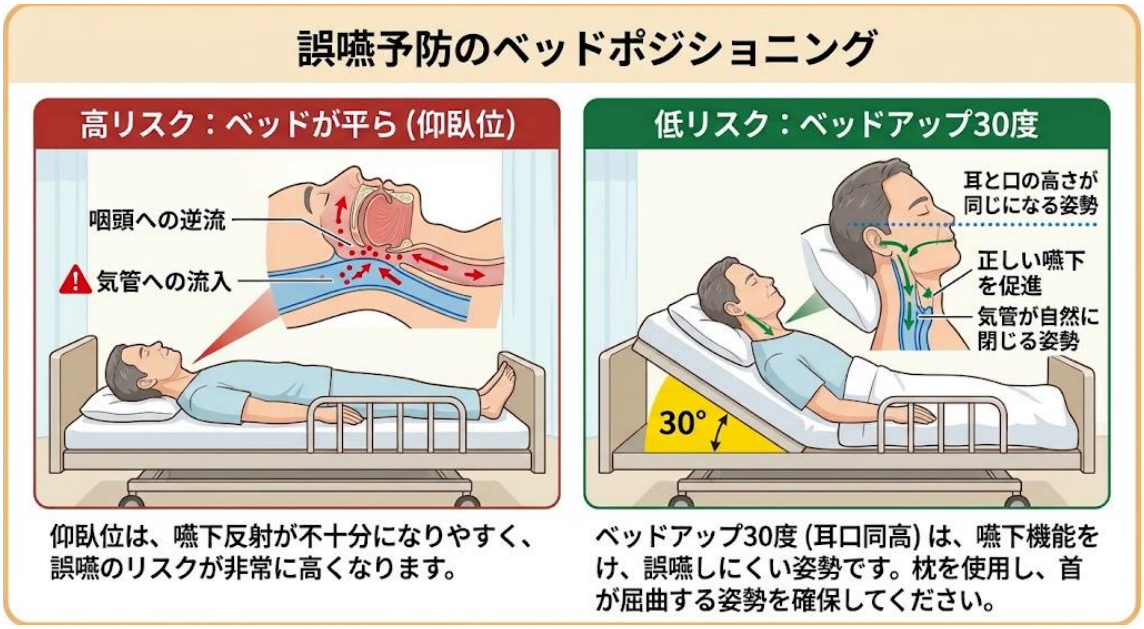
第15号
発行日：2026年10月27日
専門・認定看護師会
担当：治田　悠介

専門・認定看護師会では、専門・認定看護師の活動報告や各領域の専門知識をワンポイントアドバイスでお知らせするため、ニュースレターを発刊しています。

誤嚥を予防するための姿勢調整
臥床時のベッドアップはしていますか？

誤嚥性肺炎で入院された方・誤嚥の危険性が高いとされている方の誤嚥を予防するためには、ベッド臥床している際の姿勢にも注意が必要です。

ケアの後、体位変換の後、今一度姿勢を確認しましょう。





ベッドアップをすることで、唾液等が咽頭後壁を流れることで食道に入りやすくなります。頸部の角度は30度が良いとされています。頸部が後屈しないように、枕での調整も誤嚥予防には有効です。

ベッドアップした際に以下の2点を確認しましょう。
①ベッドの床板部分がベッドボードの少し上である
②耳と口の高さは同じ、もしくは口が低い位置になる

※ベッドアップの制限がある方や疼痛などによりベッドアップが困難な方の場合は、安静度や本人の安楽な姿勢を優先してください。

口腔ケアや栄養管理と合わせて、誤嚥を防止するための姿勢も作っていきましょう。
何かありましたら、4西病棟内線：3402までお願いします。